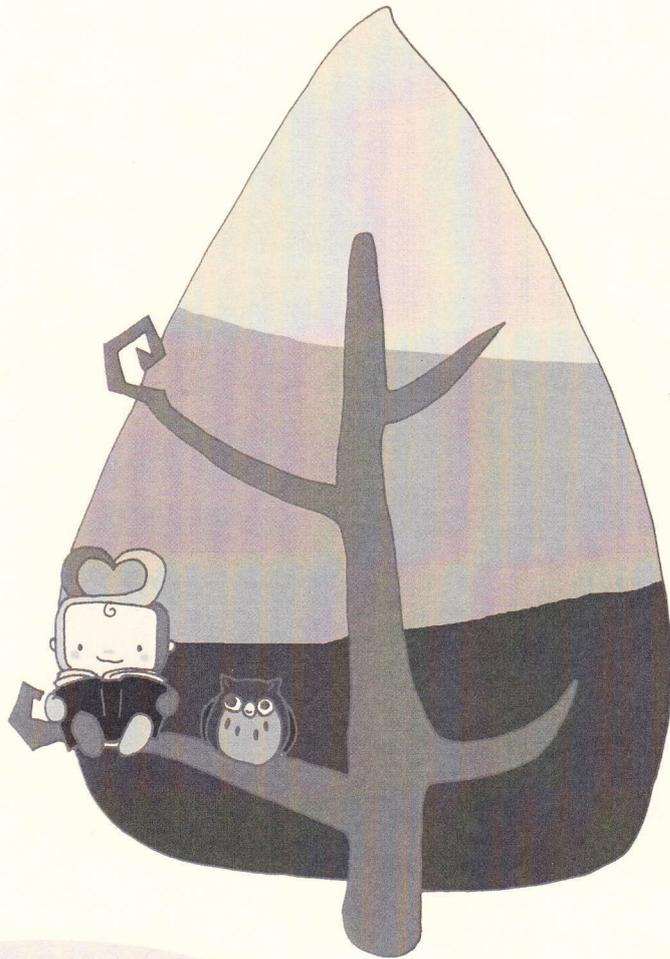


令和5年度

大仙市社会福祉大会



ゆいゆい
YUIYUI

令和5年10月11日(水)

午後1時～3時30分

大仙市大曲市民会館
小ホール

第5期地域福祉活動計画 基本理念

地域のみinnで支え合う
ぬくもりのあるまちづくり

- 主催 社会福祉法人 大仙市社会福祉協議会
- 後援 大仙市 秋田県社会福祉協議会
秋田県共同募金会 大仙市共同募金委員会
大仙市民生委員児童委員協議会 大仙市ボランティア連絡協議会
大仙市老人クラブ連合会 大仙市身体障害者福祉協会
大仙市母子寡婦福祉連合会 大仙市手をつなぐ育成会
- 協賛 株式会社仙北印刷所

社会福祉法人 大仙市社会福祉協議会

令和5年度 大仙市社会福祉大会 開催要項

1. 趣 旨

少子高齢化と人口減少の急速な進行により、社会を取り巻く環境は変化し、大仙市内でも支援を必要とする人の増加や地域活動の担い手不足による相互扶助機能の低下が顕在化してきています。

また、今年度は大仙市内でも水害が発生しており、地域力の低下を防ぐことは、市民の命を守るうえでも重要な課題となっています。

大仙市社会福祉協議会は、市の「第4次地域福祉計画」と共通の理念・目標のもと「第5期地域福祉活動計画」を推進し、市民、企業、団体、関係機関と協働して支え合える地域づくりに取り組んでまいります。

今大会は、地域で様々な活動を行っている市民や関係者が一堂に会し、こうした福祉課題や取り組みに対する共通の理解を深めるとともに、永年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表すために開催します。

2. 主 催 社会福祉法人 大仙市社会福祉協議会

3. 後 援

大仙市、秋田県社会福祉協議会、秋田県共同募金会、大仙市共同募金委員会、大仙市民生委員児童委員協議会、大仙市ボランティア連絡協議会、大仙市老人クラブ連合会、大仙市身体障害者福祉協会、大仙市母子寡婦福祉連合会、大仙市手をつなぐ育成会

4. テ ー マ 『地域のみんなで支え合う めくもりのあるまちづくり』

5. 開催期日 令和5年10月11日（水曜日）

6. 会 場 大曲市民会館・小ホール
大仙市大曲日の出町2丁目6番50号

7. 日 程

12:30	13:00	13:40	13:50	14:20	14:30	15:30
受 付	大会・式典	休 憩	福祉教育 実践発表	休 憩	講 演	

8. 式典次第

- (1) 開 会
- (2) 社会福祉関係物故者に対する黙とう
- (3) 大会会長あいさつ
- (4) 功労者表彰並びに感謝状贈呈、県共同募金会長表彰贈呈
- (5) 受賞者代表謝辞
- (6) 来賓祝辞
- (7) 来賓紹介
- (8) 大会宣言
- (9) 閉 会

大会宣言(案)

急速に進行する少子高齢化と人口減少により、大仙市では支援を必要とする高齢者が増加する一方で、福祉活動の担い手不足による地域支え合い機能の低下が進んでいます。

また、ひきこもりや社会的孤立、生活困窮、制度の狭間の問題など様々な生活課題や近年頻発する自然災害に対応するために地域の福祉力の低下を防ぐことは大きな課題となっています。

このような社会や人々の暮らしの変化を踏まえ、福祉・保健・医療・教育などと共に、住民それぞれが地域全体で支え合っていく「地域共生社会の実現」が今求められています。

大仙市社会福祉協議会では、『地域のみんなで支え合うぬくもりのあるまちづくり』を基本理念にかかげ、「誰もが人や地域とのつながりを大切にする住みよい地域づくり」、「市民ボランティア活動の充実と支え合いの仕組みづくり」、「支援を必要とする人の声が活かされるサービス基盤づくり」の3つを基本目標とし、基本理念の実現に向けて取り組んでいます。

市民一人ひとりが地域に関心を持ち、お互いを尊重し支え合うことで、年齢や障がいの有無などに関わらず、誰もが安心して暮らし続けることができる、心豊かでぬくもりのある「地域共生社会の実現」をめざしていくことをここに宣言します。

令和5年10月11日

大仙市社会福祉大会

(大会宣言朗読：大曲高等学校2年 菊地 ^{せな}世渚さん)

福祉教育実践発表

演題

『太田の花でつながる ハートフルフラワープロジェクト』

発表者

大仙市立太田中学校3年

鈴木 弘斗さん、高橋明日香さん
鈴木 日菜さん、佐藤 達信さん

地域への感謝の気持ちを形に表すべく、雪まる隊の除雪活動の対象者など一人暮らしの高齢の方のお宅を訪問し、学校で育てた鉢花をプレゼントしています。毎年楽しみにしている方も多く太田中学校の伝統の一つ、地域貢献の一つとして実施している取り組みです。

講演

演題

『しあわせについて ～無縁社会から有縁社会へ～』

講師

藤里町月宗寺住職 心といのちを考える会会長

袴田 俊英氏

県内では3人に一人が高齢者という高齢社会になっている中、誰にも知られず、引き取り手もないまま“孤独死”していく人も増えています。家族、地域、職場などとのつながりが急速に薄れてきている現代社会をNHK特別番組で「無縁社会」と呼び、その番組は大きな反響がありました。

ではどのようにすれば「有縁社会」へ変えてゆけるのでしょうか？

プロフィール

昭和33年、秋田県能代市生まれ。曹洞宗月宗寺住職。

平成4年「ビハーラ秋田」を設立。

平成5年から自死問題に取り組み、平成12年藤里町で「心といのちを考える会」を立ち上げ、現在会長。

他に自死予防のための県民運動である「秋田ふきのとう県民運動実行委員会」会長代行。

平成28年正力松太郎賞正賞受賞。

令和5年度 大仙市社会福祉大会

大仙市社会福祉協議会会長表彰
大仙市社会福祉協議会会長感謝状
秋田県共同募金会会長表彰

受賞者名簿

(敬称略)

1.大仙市社会福祉協議会会長表彰

- (1) 役員及び評議員で在職期間8年以上の現職であって、その職務に精励し功績が特に顕著な方 (2名)

氏 名	地 域
杉 尾 忠 夫	大 曲
高 橋 節 子	仙 北

- (2) 福祉員として在職期間が10年以上であって、その職務に精励し功績が特に顕著な方 (17名)

氏 名	地 域
佐 藤 征 子	大 曲
豊 巻 郁 子	大 曲
邑 山 良 夫	大 曲
深 谷 龍 治	大 曲
深 川 亮	大 曲
伊 藤 信 一	大 曲
鈴 木 芳 則	大 曲
佐 藤 照 雄	大 曲
照 井 金 夫	大 曲
清 水 民 子	西 仙 北
伊 藤 重 成	西 仙 北
信 太 三 男	西 仙 北
藤 田 勇	中 仙
佐 藤 誠 一	協 和
小 柳 真理子	太 田
本 多 美喜子	太 田
石 崎 裕利子	太 田

- (3) 社会福祉向上のためボランティア活動を継続して行い、その功績が顕著で現に活動している個人及び団体 (4名)

氏 名	地 域
加 藤 香 子	大 曲
三 浦 文 子	大 曲
齋 藤 幸 子	西 仙 北
佐 藤 洋 子	西 仙 北

2.大仙市社会福祉協議会会長感謝状

- (1) 福祉員として在職期間5年以上の現職で、職務に精励し功績が特に顕著な方 (41名)

氏 名	地 域
斉 藤 隆 美	大 曲
粟 津 清 美	大 曲
村 上 克 己	大 曲
三 浦 春 彦	大 曲
加 藤 猛	大 曲
高 橋 榮 蔵	大 曲
田 口 瑞 枝	大 曲
藤 田 昇	神 岡
佐々木 俊 子	神 岡
古 巢 浩 隆	西 仙 北
鈴 木 孝 輔	西 仙 北
伊 藤 晴 一	西 仙 北
俵 谷 庄 一	西 仙 北
堀 江 則 男	西 仙 北
進 藤 幹 夫	西 仙 北

氏 名	地 域
小笠原 照 子	西 仙 北
田 村 藤 子	西 仙 北
齋 藤 正 宏	西 仙 北
阿 部 ルミ子	西 仙 北
高 橋 光 雄	西 仙 北
北 田 芳 美	中 仙
三 浦 よし子	中 仙
佐々木 淳 一	協 和
進 藤 久 子	協 和
後 藤 隆 繁	協 和
後 藤 明 子	協 和
津 島 隆 雄	協 和
豊 島 茅保子	協 和
進 藤 勇	協 和
加 藤 久 徳	南 外
八 嶋 みつ子	南 外
後 藤 正 文	仙 北
佐 藤 繁 一	仙 北
熊 谷 孝 弘	仙 北
鷹 觜 真 美	太 田
冨 木 栄 子	太 田
中 安 由里子	太 田
本 多 圭 子	太 田
草 薨 昭 子	太 田
佐々木 実和子	太 田
倉 田 富士夫	太 田

(2) 本会役員及び評議員として6年以上勤めその職を辞した方。

(7名)

氏 名	地 域
深 谷 久 和	大 曲
小 林 和 子	大 曲
木 村 孝 臣	神 岡
佐々木 好 美	西 仙 北
高 橋 秀 材	中 仙
豊 島 繁 實	協 和
加 藤 正 善	協 和

(3) 社会福祉事業に対し多額の金品を寄贈し、社会福祉の推進に貢献された団体

(1団体)

氏 名	地 域
東仙建設工業株式会社 代表取締役 草薨敏己	中 仙

3.秋田県共同募金会会長表彰

(1) 奉仕功労者

永年にわたり募金ボランティアとして、共同募金運動の発展に貢献された方

(21名)

氏 名	地 域
亀 谷 京 子	大 曲
斎 藤 京 子	大 曲
佐 藤 邦 子	大 曲
西 村 ヨシ子	大 曲

氏 名	地 域
堀 川 哲 美	大 曲
大 坂 吉 義	大 曲
古 屋 義 弘	神 岡
若 松 君 子	西 仙 北
田 口 清 一	西 仙 北
菅 原 弘 子	西 仙 北
齋 藤 悦 蔵	西 仙 北
三 浦 正 行	西 仙 北
戸 嶋 文 子	中 仙
草 薙 勇	中 仙
佐 藤 陽 子	協 和
加 藤 信 義	協 和
加 藤 あずさ	協 和
佐 藤 まどか	協 和
佐々木 千枝子	仙 北
嶋 津 光 勇	太 田
鈴 木 政 子	太 田